

種類別明細書の記入例

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別
表第1～6(別表3、4を除く)までに掲げる
耐用年数を記入してください。

資産を実際に取得した年月を記入してください。年号欄には昭和＝3、平成＝4、令和＝5を記入してください。

(主な資産の耐用年数)

パソコン4年、テレビ5年、コピー機5年、FAX5年、エアコン6年、冷蔵庫・洗濯機6年、厨房設備8年

食料品製造用設備 10 年、繊維工業用設備 7 年、農業用設備 7 年、林業用設備 5 年、洗濯・理容・美容業用設備 13 年、自動車整備業用設備 15 年、飲食店用設備 8 年
※平成 20 年度税制改正により法定耐用年数表が大きく変更されました。また、機械及び装置の資産区分が 390 区分から 55 区分になりましたので申告の際はご注意ください。

資産の名称及び規格等
を記入してください。

資産名はひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベットで記入してください。

資産の種類欄には区分番号を記入してください。

- 1 構築物 2 機械及び装置
3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具
6 工具、器具及び備品

資産が増加したことについて、事由の番号を○で囲んでください。1＝新品取得、2＝中古取得、3＝移動による受入、4＝その他

資産の取得価格を記入してください。取得価格とは、資産を取得するために通常支出すべき金額（引取運賃、運送保険料、購入手数料、据付費を含む）をいいます。

記入しないでください。ただし電算
処理により全資産申告を行う事業所
様は記入してください。